

アナバプテストのクリスチャンとは何か? ②

中心的価値1 イエスがわたしたちの信仰の中心である。

- 1) 弟子はイエスを自分たちの師である教師、救い主そして主として受け入れる信者となった。
- 2) それから250年の間イエスの生き方、奉仕、死、復活に焦点をあてた。
- 3) コンスタンティヌスとアウグスティヌスによって今までのキリスト教信仰が大きくかわった。

コンスタンティヌス帝

- ・313年キリスト教寛容令 → 国家公認宗教へ
- ・キリスト教を外から統制するような信条や組織を強調した

アウグスティヌス

- ・イエスの生き方、奉仕の代わりに十字架の死を焦点に当てる。

使徒信条はこの時代の作

- 4) その後1000年の間、司教・教皇はイエスの死に強調点を置く。
- 5) ツヴィングリ、ルターは信仰の意味である「罪の赦しを通して永遠の命を受け取る」ということを個人的な救いに限定し、他の多くの神の要求は今までのアウグスティヌスの考えに戻った。従って新しい生き方（イエスに従う）新しい人間関係（和解）を信じることは、ほとんど関心がなかった。
- 6) アナバプテストは自分たちの考えを組み立てるのに際してイエス・キリストと最初の弟子たちに立ち帰ることを主張した。
- 7) アナバプテストにとって「信仰によって義とされること（信仰義認）」よりもむしろ「新しく生まれ変わること（新生）」の方が重要な意味をもっていた。
- 8) 救いが神の恵みによってもたらされる（聖霊）ことを信じる一方で、そのことがイエス・キリストへの服従という応答を要求することを信じた。